

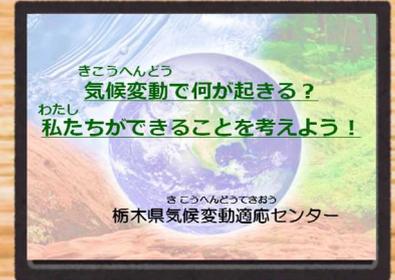


楽しく知って・今日から行動！ 小学校で出前授業



栃木県気候変動適応センターは、将来を担う小学生(10校324人)を対象に、気候変動に関する出前授業を行いました。

私たちの身の回りで、すでに起こっている「気候変動の影響」について学び、暮らしの中で取り組むことができる「適応策」などを考えました。



1 家族と考える気候や暮らしの変化

祖父母や父母の子供の頃と今はどう違うのか、クラス全体の結果をまとめました。



2 気候の変化をクイズで学ぶ クイズに答えながら気候変動を学びました。

3 2100年の天気予報 2100年の夏は40℃超え！2100年の天気予報の動画を見て驚きました。

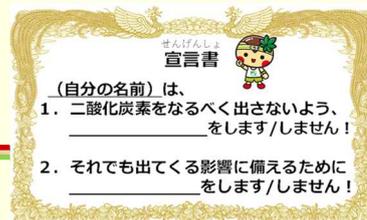
4 どうして気温は上がっているの？ 地球温暖化の原因を学びました。

5 地球温暖化を止めよう！ 地球温暖化を止めるには、どうしたらいいか考えました。

6 気候変動に適応しよう！ 気候変動の影響に適応する方法を考えました。

7 これから取り組むことを宣言しよう！

日常生活で何ができるのか考え、取り組むことを“宣言書”に記入して発表しました。



～ 授業の感想～

- ◆一人一人ができることを実行することが一番大切だと思った。私たちができることについて、今日からやっというと思う！
- ◆80年後の2100年に40℃を超えるのが当たり前にならないように、今からできる対策はしたほうがいいと感じた。それでも出てくる影響に備えるために適度な運動を毎日すること、ハザードマップで避難場所を確認しておこうと考えた。
- ◆毎日の生活で「むだづかい」を減らそうと考えた。そうすればCO₂の量が減り地球温暖化も防げるし、災害も防げるからだ。自分たちのちょっとした心がけで、少しでも地球環境が悪くなることを防げるなら、がんばりたいと思えるようになった。
- ◆とても授業がおもしろく楽しく分かりやすい。生活の中で自分にも簡単にできることを、こつこつとやりたい。
- ◆100年後という想像できないことまで知れて、おもしろかった。このような授業をまたやってほしい。



授業で使用した教材データは、栃木県気候変動適応センターのHPで公開しています。御自由に御活用ください。みなさんも気候変動の影響に適応するために何ができるか、何をしたらいいか、私たちと考えましょう！

